

19年セ試利用大学・短大情報（第1弾：17年11月発表分）

19年セ試に5大学・12短大が新規参加！

早大 政治経済、西南学院大 経済は5教科6科目必須

平成17年12月 旺文社 教育情報センター

平成19年度からセンター試験（以下、セ試と略）を新たに利用する私立大学・学部および公私立短大・学科が、17年11月に文部科学省より発表された。私立大では5大学、短大では12短大が新規に参加する。18年3月末にも、第2弾として新規参加大学（学部）・短大（学科）の予告申請があり、その際に大学・短大のセ試参加の全容が明らかになる。

私立大では17年開設の東京聖栄大など5大学6学部、短大では岩手県大宮古短大部・盛岡短大部や白梅学園短大、愛知江南短大など12短大27学科（うち公立は2短大3学科）が新規にセ試に参加する。また、既にセ試を利用している大学・短大で、新たに利用学部・学科を増やしたのは、日本大 - 文理、早大 - 政治経済、西南学院大 - 経済など6大学6学部と、名古屋女大短大部 - 保育、神戸常盤短大 - 幼児教育の2短大2学科（以上、p.3に一覧を掲載）。早大 - 政治経済では、一般入試の一部選択科目（外国語のうちドイツ語・フランス語）についてもセ試を利用する。一方で、上野学園大 - 音楽・文化が19年度からセ試の利用を取りやめる。

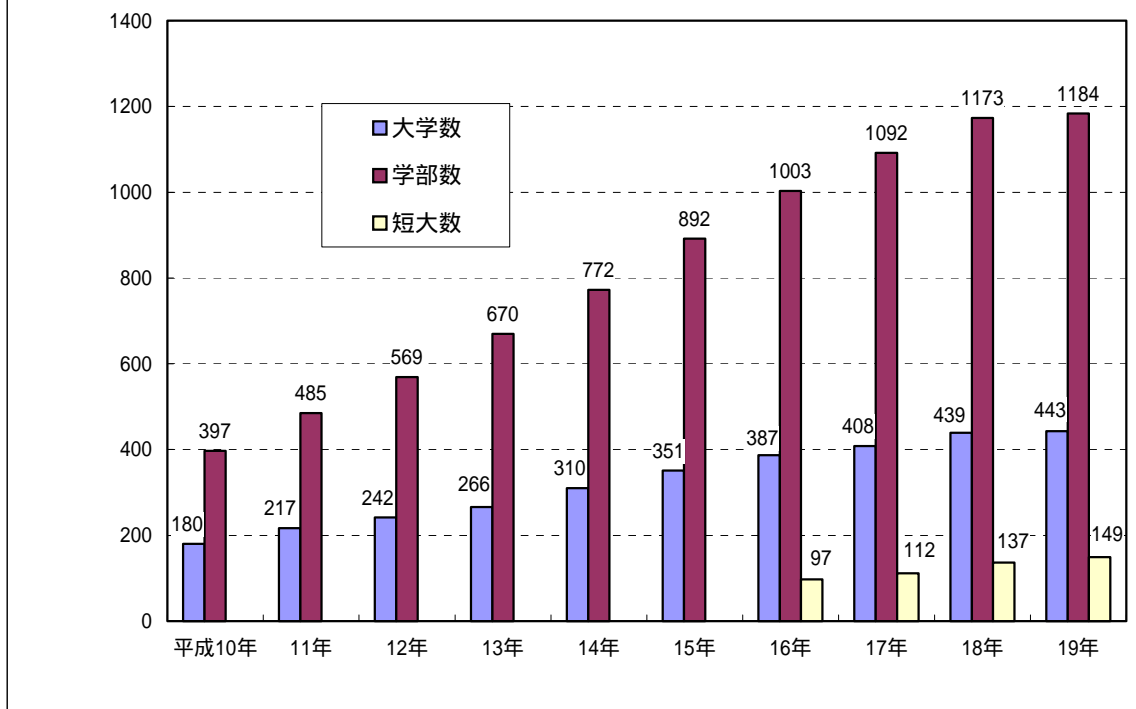
これで、セ試に参加する私立大は443大学1,184学部、公私立短大は149短大355学科（17年10月末現在：p.2のグラフを参照）となった。学校数で見ると、全私立大の約8割、全短大の4割近くを占める。なお、新規参加の各大学・短大および学部・学科の募集人員と利用科目については、「DATA&DATA」に掲載したので、参照してほしい。

【利用科目数】私立大はふつう「セ試2～3科目、個別試験なし」が多数派だが、早大 - 政治経済、西南学院大 - 経済などで5教科6科目、日本大 - 文理（数学<2期>）で5教科7科目を課す。いずれも5（6）教科7科目化が進んだ国立大との併願を考慮した“重量級”入試といえる。また、日本大 - 文理（物理生命システム科学）は、科目の選択次第で理科3科目となる。

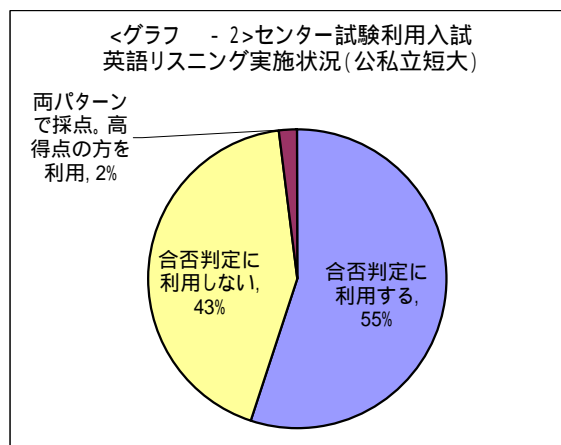
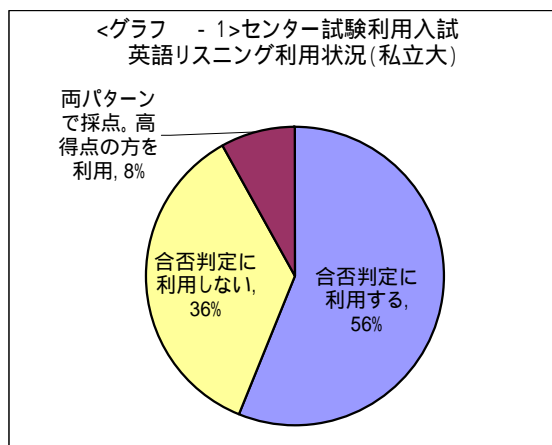
短大では「セ試1～2科目、個別試験なし」が多いが、岩手県大盛岡短大部 - 生活科学では4教科を課し、個別試験を課す短大（小論文 = 岩手県大短大部2校、面接 = 金城大短大部・久留米信愛女学院短大、作文・面接 = いわき短大）もある。

【英語リスニングへの対応】18年度から始まる新課程入試において、セ試の利用科目で最も注目されるのは、英語のリスニングテストであろう。旺文社調査（17年11月時点）では、18年度でセ試利用入試を行う私立大のうち、リスニングを利用する学部・学科は全体の56%に留まる。さらに公私立短大でも、英語を課す（または選択可能な）学科のうち、リスニングを利用するのは全体の55%に留まっている（p.2のグラフを参照）。そして19年度の新規参加校では、私立大が日本大 - 文理など12学部中8学部で、また短大では英語を課す（または選択可能な）28学科中7学科で、「リスニングの成績は利用しない」としている。私立大・短大には志願者確保の観点からか、リスニングに対してやや消極的な姿勢がうかがえる。

<グラフ> センター試験を利用する私立大・短大 過去10年間の推移



(注) 短大は16年から参加。18年・19年の大学・学部数および短大数は、17年10月末現在。



(注) 私立大は学部(または学科)単位、公私立短大は学科単位の集計(外国語必須、または選択可能な学部・学科のみ)。

平成 19 年度 / センター試験 新規利用大学・学部一覧 (17 年 10 月現在)

[凡例] カッコ内は募集人員。 * = 英語でリスニングの成績を利用しないことを示す。

19 年度から新たに利用する私立大学 (5 大学 6 学部)

東日本国際大 - 経済(15) * ・福祉環境(20) *

日本薬大 - 薬(15) *

東京聖栄大 - 健康栄養(8) *

芦屋大 - 教育(65) * <注 : 国際コミュニケーション教育科(10 人)のみリスニングを利用>

熊本保健科学大 - 保健科学(20) *

既参加大学で、新たに参加学部を増やす私立大学 (6 大学 6 学部)

弘前学院大 - 看護(10) *

日本大 - 文理(70) *

早大 - 政治経済(75)

大阪成蹊大 - 芸術(12) *

西南学院大 - 経済(20)

福岡大 - スポーツ科学(8)

平成 19 年度 / センター試験 新規利用短大・学科一覧 (17 年 10 月現在)

[凡例] カッコ内は募集人員。 = 「前年度のセ試の成績利用可」を示す。 * = 英語でリスニングの成績を利用しないことを示す。 = 英語が入試科目にない (必須・選択とも) ことを示す。

19 年度から新たに利用する公私立短大 (12 短大 27 学科)

岩手県大宮古短大部<公立> - 経営情報(20)

岩手県大盛岡短大部<公立> - 生活科学<生活科学(17) * ・食物栄養学(17)> ・国際文化(30)

小樽短大 - 英語・経営実務(10)

山形短大 - 総合文化(10) ・子ども(10) ・人間福祉(3)

いわき短大 - 幼児教育(2)

白梅学園短大 - 心理(10) *

金城大短大部 - 幼児教育(5) ・美術(3) ・ビジネス実務(5)

仁愛女子短大 - 生活科学<生活環境(3) * ・生活情報(3) * ・調理科学(3) * ・食物栄養(3) * > ・
幼児教育(6) *

愛知学泉短大 - 生活デザイン総合(10) * ・食物栄養(4) * ・幼児教育(4) *

愛知江南短大 - 生活科学(5) ・教養(5) ・社会福祉(5) ・現代幼児 1 部(5) ・現代幼児 3 部(5)

一宮女子短大 - 生活文化<生活文化(5) ・食物栄養(5)> ・幼児教育 1 部(5) ・幼児教育 3 部(5)

久留米信愛女学院短大 - 幼児教育(5) ・健康栄養(5) ・情報社会(5)

既参加短大で、新たに参加学科を増やす私立短大 (2 短大 2 学科)

名古屋女大短大部 - 保育(4) *

神戸常盤短大 - 幼児教育(2)